

航空宇宙品質センターメンバー・関係者 各位

(一社)日本航空宇宙工業会
航空宇宙品質センター
JAQG 事務局

JAQG SCMH(Supply Chain Management Handbook) 説明会開催のご案内

拝啓 時下ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、当航空宇宙品質センター(JAQG)では、JIS Q 9100 規格の制定とその認証制度の運用維持をはじめ、航空宇宙産業界における品質向上・コストダウン活動を推進しており、1年間の活動成果を毎年2月に開催いたしますJAQG活動報告会で報告させて頂いております。そのJAQG活動報告会でメンバーの皆さまに大きな期待をかけて頂いているSCMH活動の紹介について、昨年、一昨年とJAQG SCMHメンバーによる説明会を開催しましたところ大きなご支持頂くことができ、今年度も開催の運びとなりましたことをご報告申し上げます。

本説明会では、JAQG ホームページに掲載しているSCMHから、昨年の説明会でご要望の多かった項目を選び、資料の内容(概要及びテンプレート)をご紹介します。

なお、今年度のSCMH説明会は、新型コロナウイルス感染症の動向に鑑み、On-Line セミナー形式での開催とさせていただきます。よろしくご参加ください。

敬具

記

1. 日 時・場 所:

令和3年1月22日(金) 13:30~15:30
On-Lineでのセミナー

2. 内 容 : 別紙アジェンダ案参照

3. 申込方法 :

①JAQG ウェブサイトによる申し込み(推奨)

JAQGメンバー専用ページにログイン後「イベント案内」

<http://www.sjac.or.jp/jaqq/member/modules/eguide1/>

に必要事項を入力の上、お申し込み下さい。

お申込後、申込データの送信確認メールが自動配信されます。

②FAX もしくは eメールによる申し込み

添付の参加申込書に必要事項を記載の上、以下のFAX番号もしくはeメール宛お申し込み下さい。

FAX : 03-3585-0541, eメール : jaqq@sjac.or.jp

申込終了後、参加登録メール(eメール)を送付致しますので、説明会への事前登録をお願い致します。
また、参加人数に制限は設けません。

説明会当日は、参加登録メールに貼付されたURLからセミナーにご参加ください。

申込期限:1月15日(金)

4. 参加対象者 : JAQG メンバー(会員メンバー、協賛メンバー、関係機関メンバー)が対象です。

特に、各社のQMS改善推進担当者の方、SCMHガイダンスの概要を把握したい方にお薦めします。

5. 参加費 : 無料

担当: JAQG 事務局
前 畑 / 有 賀

eメール : jaqq@sjac.or.jp FAX : 03-3585-0541 TEL : 03-3585-1481

FAX 03-3585-0541 または eメール jaqg@sjac.or.jp
(ウェブ <http://www.sjac.or.jp/jaqg/member/modules/eguide1/> でも受け付けています(推奨)
その場合、ウェブの書式にご記入下さい)

一般社団法人 日本航空宇宙工業会 航空宇宙品質センター(JAQG)
有賀 行き

令和2年度JAQG SCMH 説明会 参加申込書

以下のとおり申し込みます。

氏名: _____

会社名/所属: _____

住所: 〒 _____

Eメールアドレス: _____

電話: _____ FAX: _____

以上

Web会場 令和3年1月22日(金) 13:30~15:30

時間	説明内容	説明者
13:30 (5分)	事務局からのお知らせ	(一社)日本航空宇宙工業会 JAQG 事務局 部長 前畑 貴芳
13:35 (5分)	はじめに(趣旨説明)	川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー QM推進本部 統括基幹職 松田 豊 (JAQC 幹事長)
13:40 (10分)	SCMH 活動説明 SCMH 活動全般説明 SCMH 資料の概要、入手方法の説明	住友精密工業株式会社 航空宇宙品質保証部 品質マネジメント課 マネジャー 太田 茂雄(SCMH WG 主査)
13:50 (20分)	3.4 章 異物損傷(FOD)防止プログラム 本 SCMH は、SJAC9146 規格「異物損傷(FOD)防止プログラム」について、ガイダンスを提供します。異物損傷防止プログラムは、製品又はシステムの内部に意図せず混入又は残置された異物による損傷を防止するためにFODリスクを評価し軽減することを目的としています。	ナブテスコ株式会社 航空宇宙カンパニー 品質保証部 品質管理課 馬場 宏充
14:10 (20分)	7.1 章 作業移管の管理 本 SCMH は、効果的に作業移管の管理を実行するためのガイドライン及びテンプレートを提供します。各組織がゲート管理による効果的なリスク管理を行うことで、適時及び適切に、必要な管理レベルによる処置が行えるよう支援することを目的としています。	株式会社 SUBARU 航空宇宙カンパニー QMS 推進室 QMS 課 山本 潤太郎
14:30 (20分)	3.10 章 現場からの意見吸上げ 本 SCMH は、従業員からのプロセス改善提案の吸い上げと利用に関するコミュニケーション方法及び仕組みを確立するためのガイドライン、方法論及びベストプラクティスを提供し、仕組みの改善に影響を与えることを可能にする適切なレベルまで、アイデアが確実に伝達されることを目的としています。	三菱電機株式会社 鎌倉製作所 品質保証部 品質保証第二課 課長 梶沼 雅仁
14:50 (20分)	強固な QMS 構築のためのガイダンス文書 No.7 不祥事防止の取組み 本ガイダンスは、品質不祥事にかかる各調査報告書にて記載されている発生原因を、不正発生に繋がるメカニズムを検討する際に用いられる不正のトライアングルの枠組みで整理し、各組織における品質不正の潜在リスクを抽出して改善活動のきっかけとするためのアセスメントシートを提供します。	川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー QM推進本部 QM計画部 QM計画課 基幹職 澤中 裕子
15:10 (20分)	質問への回答	回答が終わり次第、SCMH 説明会を終了